

第4章 発現過程における仮説の再整理

4.1 再整理のポイント

現地調査によるシナリオ作成等の分析を行った結果を踏まえ、施設整備による教育研究上の効果の発現過程の再整理を行った。現地調査による仮説再整理結果のポイントを以下に記載する。

(1) 教育機能の再整理

専門教育棟等、高度で専門的・実践的な技術を身につけるための施設整備の目的について、現地調査前の仮説では、「高度で専門的な教育ニーズへの対応」と想定していた。

しかし、専門教育においてもグローバル人材やイノベーションを担う実践的・創造的な人材の育成が課題となっているため、施設整備の目的「高度で専門的な教育ニーズへの対応」の内訳に「国際的に通用する高度な人材養成を目指す世界で活躍する人材育成」と「イノベーションを担う実践的・創造的な人材の育成」の2項目を加えた。

このほか、寄与の仕方、短期的アウトカム、短期的アウトカム指標等、中期的アウトカムの各段階にも、現地調査で確認できた項目を加筆した。

(2) 研究機能の再整理

若手研究者スペース等、多様な研究に専念でき、研究分野の裾野を広げる施設整備の目的について、現地調査前の仮説では、「多様な研究活動の促進」と想定していた。

しかし、多様な研究活動においても複数領域を融合した研究成果の発揮が課題となっているため、施設整備の目的「多様な研究活動の促進」の内訳に「複数領域を有機的に融合した研究成果の創出」を加えた。

このほか、寄与の仕方、短期的アウトカム、短期的アウトカム指標等、中期的アウトカムの各段階にも、現地調査で確認できた項目を加筆した。

(3) 地域貢献機能の再整理

リカレント施設、サテライト教室、テクノセンター等、多様な研究環境を提供する施設整備の目的について、現地調査前の仮説では、「生涯学習機能の充実」と想定していた。

しかし、生涯学習の一分野として、社会人の教育が課題となっているため、施設整備の目的「生涯学習機能の充実」の内訳に「社会人の教育機能の提供」を加えた。

このほか、寄与の仕方、短期的アウトカム、短期的アウトカム指標等、中期的アウトカムの各段階にも、現地調査で確認できた項目を加筆した。

(4) 国際化貢献機能の再整理

施設整備の目的の追加はなかった。

このほか、寄与の仕方、短期的アウトカム、短期的アウトカム指標等、中期的アウトカムの各段階にも、現地調査で確認できた項目を加筆した。

4.2 施設整備による教育研究効果発現過程の再整理

前項において再整理した、施設整備による教育研究上の効果の発現過程（機能別一覧表）を以下に掲載する（図表 18）。

なお、青字部分は再整理によって追加された各項目である。また、図表 8 において作成した仮説の段階であげた項目の中には、現地調査、再整理の段階を経て除外された項目も存在するが、それらの項目は図表 18 からは削除している。

図表 18 施設整備による教育研究上の効果の発現過程（再整理）

インプット	機能	施設整備の目的	施設整備の課題(整備施設例)	整備内容 (課題解決策)	整備結果 (アウトプット指標)	寄与の仕方	短期的効果 (短期的アウトカム)	短期的効果指標 (アウトカム指標)	中期的効果 (中期的アウトカム)	長期的効果 (インパクト)
施設整備事業	教育機能	①幅広い教養習得への対応	高度化・多様化する教育内容・方法等に機動的に対応できるフレキシビリティの高い空間の確保 (講義棟、共通教育棟 等)	質的 情報化講義室数 少人数双方向によるセミナー実施可能室数	量的 自習室数・面積の増加	講義室等の高機能化 きめ細やかな教育の実施 少人数教育への対応 動線の改善 多様な講義・演習・実験の実施 多様なカリキュラム編成 多様な教育環境の提供	学生の満足度の向上 学生の学習意欲の向上 語学力の向上 受験生の増加	学生の満足度(アンケート) 授業への出席率(アンケート) 一定のTOEICスコア取得者数 英語検定の取得者数 受験倍率	多様な教育を受ける機会の向上 教育の質の向上	基礎的素養を備え、社会に円滑に参画できる人材の増加 優秀な人材の輩出
		②高度で専門的な教育ニーズへの対応 (例:国際的に通用する高度な人材養成を目指す世界で活躍する人材育成、イノベーションを担う実践的・創造的人材の育成)	高度で専門的・実践的な技術を身につけるための教育環境の確保 (専門教育棟 等)	質的 情報化講義室数 少人数双方向によるセミナー実施可能室数	量的 専門教育スペース数・面積の増加 実験スペース数・面積の増加 自習室数・面積の増加	講義室等の高機能化 きめ細やかな教育の実施 少人数教育への対応 動線の改善 高度で専門的な講義・演習・実験の実施 高度で専門的なカリキュラム編成 高度で専門的・実践的な教育環境の提供	ゼミナール履修学生の増加 学生の満足度の向上 学生の学習意欲の向上 大学院進学率の向上 語学力の向上 専門的知識を要する資格の取得 受験生の増加 企業への就職増加	ゼミナールを履修する学生数 学生の満足度(アンケート) 授業への出席率(アンケート) 大学院への進学率 大学院への志願者数 一定のTOEICスコア取得者数 英語検定の取得者数 国家資格の取得者数・合格率(司法試験、公認会計士 等) 教員採用試験合格率 受験倍率 企業からの求人数、就職者数、就職率	高度な教育を受ける機会の向上 学生の意欲向上 教育の質の向上	高度な知識を身につけ、社会に貢献できる人材の輩出【就職率】
		③豊かな教育環境の確保	多様な学習スペースの確保 (図書館 等)	質的 グループ学習室(スペース)数 PCを設置した学習室(スペース)数	量的 自学自習スペース面積の増加 書籍収容スペース(書庫・書架等)面積の増加	学習図書館機能の強化 情報化機能の充実 高水準の知識に触れる機会の増加 多様な学習スペースの提供	学生の満足度の向上 学生の学習意欲の向上 図書館利用者数の増加 書籍の貸出冊数の増加	学生の満足度(アンケート) 授業への出席率(アンケート) グループ学習室・自学自習スペースの稼働率 図書館利用者数 書籍の貸出冊数	学生の意欲向上 学習支援機能の充実	豊かな知性と感性を磨き、人間的魅力を備えた人材の増加 ↓ コミュニケーション能力が高く、社会に貢献できる人材の増加 ↓ 誰とでも円滑なコミュニケーションが行われる社会の実現
		快適で豊かなキャンパスアメニティの形成 (福祉施設、課外活動施設 等)	質的 快適性向上室の数・面積	量的 コミュニケーションスペース数・面積の増加 学生相談室数・学生支援室数の増加 食堂・カフェの数・面積の増加	学習環境の改善 学生間、学生と教員のコミュニケーションの活性化 学生支援スペースの充実 学生間、学生と教員のコミュニケーションの活性化	学生の満足度の向上 学生の学習意欲の向上 コミュニケーションスペースの利用割合増加 受験生の増加	学生の満足度(アンケート) 授業への出席率(アンケート) コミュニケーションスペースを利用する学生の割合(アンケート) 受験倍率	学生の意欲向上 学生同士の交流の活発化 学習支援機能の充実		

施設整備事業(インプット)・・・効果把握の対象となる施設整備事業(改修事業又は新営事業)の事業費及び施設を使用する組織、人員、設備等。

整備結果(アウトプット指標)・・・「施設整備事業(インプット)」によって提供されるスペースや施設機能であり、直接的に把握できる結果を想定(「施設整備事業」の結果を測定する指標としても使用)。

寄与の仕方・・・「整備結果(アウトプット指標)」から「短期的効果(短期的アウトカム)」の発現に至る過程を具体的に関連づける項目。

短期的効果(短期的アウトカム)・・・施設整備事業完成後、概ね2～4年程度の期間で、発現する効果。一部部門に顕著に発現し、若しくは発現が見込まれる効果。

中期的効果(中期的アウトカム)・・・一部部門に顕在化した短期的効果から発展し、3～6年程度の期間で大学全体に影響を及ぼすことが見込まれる効果。

長期的効果(インパクト)・・・施設整備事業(インプット)から中期的効果に至る一連の過程を経て、最終的に大学を超えて地域社会、日本社会、国際社会への貢献に波及することが見込まれる効果。